

## 事前評価個表

整理番号	13
------	----

地域（地区）名	みや <sup>みや</sup> しょうかわ <sup>しょうかわ</sup> 宮・庄川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岐阜県	対象市町村	たかやまし <sup>たかやまし</sup> 高山市ほか2市村
事業実施期間	R2年度～R6年度（5年間）	事業実施主体	県、市村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、岐阜県の北部に位置し、高山市、飛騨市、白川村の2市1村から構成されている。東の飛騨山脈や西の白山など四方を山に囲まれ、富山湾へ注ぐ神通川と庄川にはさまれた標高1,000～1,500mの山岳地帯で、飛騨山地（高原）と呼ばれている地域である。</p> <p>森林面積は、本地区の総面積332.7千haの93%に当たる308.6千haを占めている。このうち、民有林が191.3千ha（森林面積の62%）、うち人工林は63千ha（人工林率33%）となっている。</p> <p>人工林は、11 齢級をピークに7～12 齢級が大部分を占めており、間伐等の適切な森林整備が求められている。</p> <p>しかしながら、現在の森林・林業を取り巻く情勢は、木材自給率及び材価の低迷、林業従事者の高齢化等、厳しい状況にあり、森林の整備状況は低調で、森林が本来有している国土保全、水源涵養等の公益的機能を十分に発揮できていない状況下である。</p> <p>一方、近年、県内で整備されている合板工場や大型製材工場の稼働により、県内の木材需要が高まり、本地区においても豊富な森林資源を活かした安定的な木材供給への機運が高まっている。</p> <p>このような状況を踏まえて、本地区では、宮・庄川地域森林計画に基づき、より効率的に施業を実施するための基盤整備や、高まる木材需要に対応するために意欲と能力のある林業事業者による集約化された計画的な森林施業を促進しているところである。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るために、森林計画等に基づく、造林、保育、間伐等の適切な森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,051ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：2,051,304千円（税抜き1,864,822千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=5.87</p> <p>（総便益（B）=15,719,234千円、総費用（C）=2,678,534千円）</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、林業事業者の集約化によって計画的かつ効率的な森林施業を進めることで、多面的機能の維持・増進と生産コストの縮減が図られるなど、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐を中心とした森林施業を効率的に推進することにより、優良材の安定的な生産に繋がり、また、森林の有する公益的機能がより高度に発揮されることになり、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岐阜県

地域(地区)名：宮・庄川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	2,796,576	
	流域貯水便益	1,324,066	
	水質浄化便益	4,701,644	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,754,257	
環境保全便益	炭素固定便益	2,211,434	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,931,257	
総 便 益 (B)		15,719,234	
総 費 用 (C)		2,678,534	
費用便益比	$B \div C = \frac{15,719,234}{2,678,534} = 5.87$		

# 森林環境保全整備事業 宮・庄川地域(岐阜県)

